

傳策田舎原氏 三十二

特 別
A13
4274
32

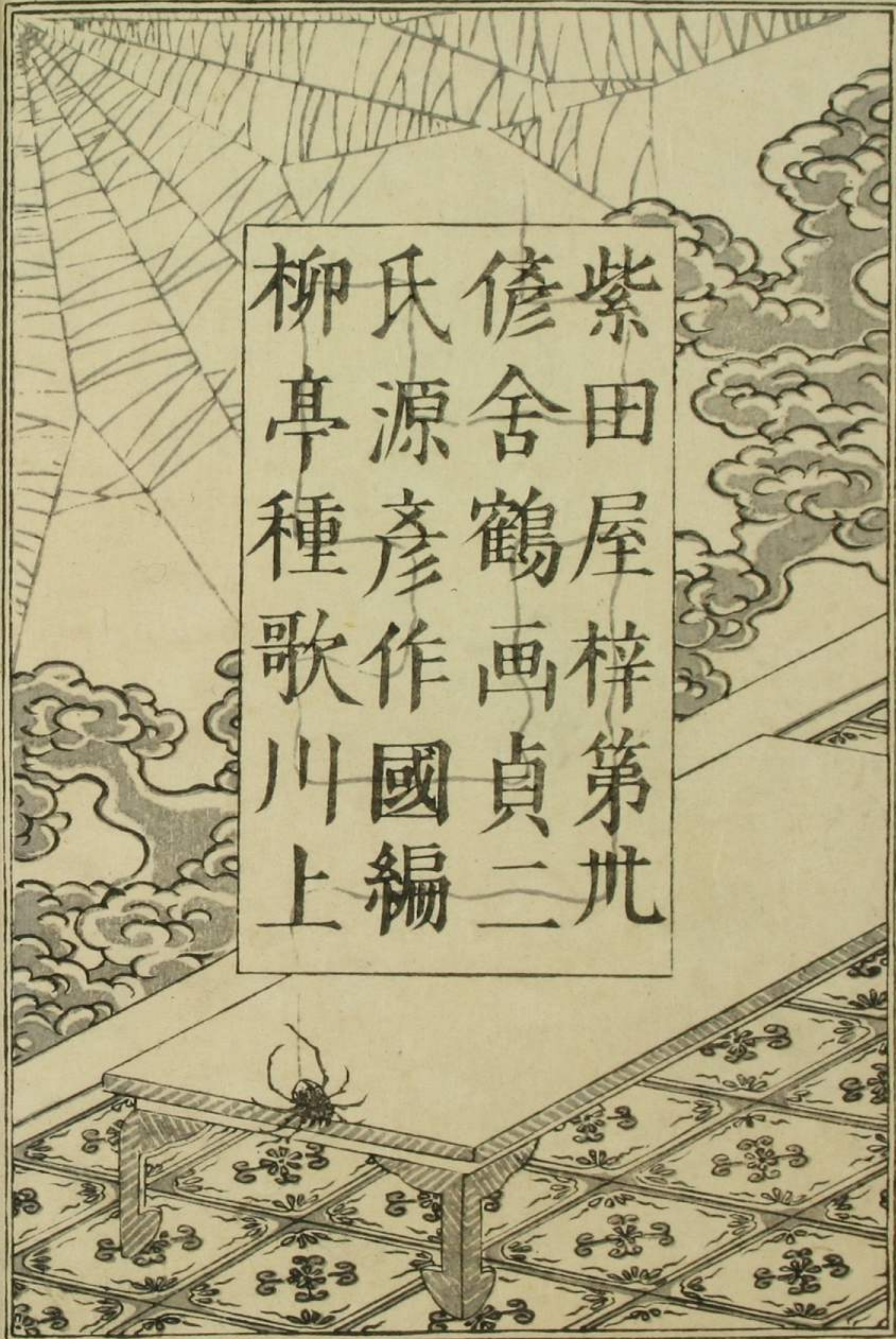


春
夕
會
日
見

三十二編上



紫田屋梓第卅
 僂舍鶴画貞二
 氏源彦作國編
 柳亭種歌川上



紫田舎源氏第三十二編

羽二重の緒の最上あれども両衣あきらめらんあゝ兜羅綿ふごよ方
 縮緬の前垂も衣を扱ふあきらめらん本綿程用へる手は野良
 柳子の此の兼應うらふ今度霞らむ赤裳衣ひきと縁をうられ
 万葉時代も長襦袢の緋るし事必せりこまむ色も地何ひも
 ありあれはふ及事ありと知りるる足利緒で五の衣を仕
 かす一不棄しもさうくして十二重の十二年續きそし女の巻小
 至り五節の舞の夜裳ふこまり大原あゝの田舎換振梅の巻
 初音の巻の男踏歌と後河のたせむ葛の筑は綿をあらうら
 見られども原来雅言の借物あれは横堅をも採ぬをあらうら
 書房の是をあらうらと急ぐもさう

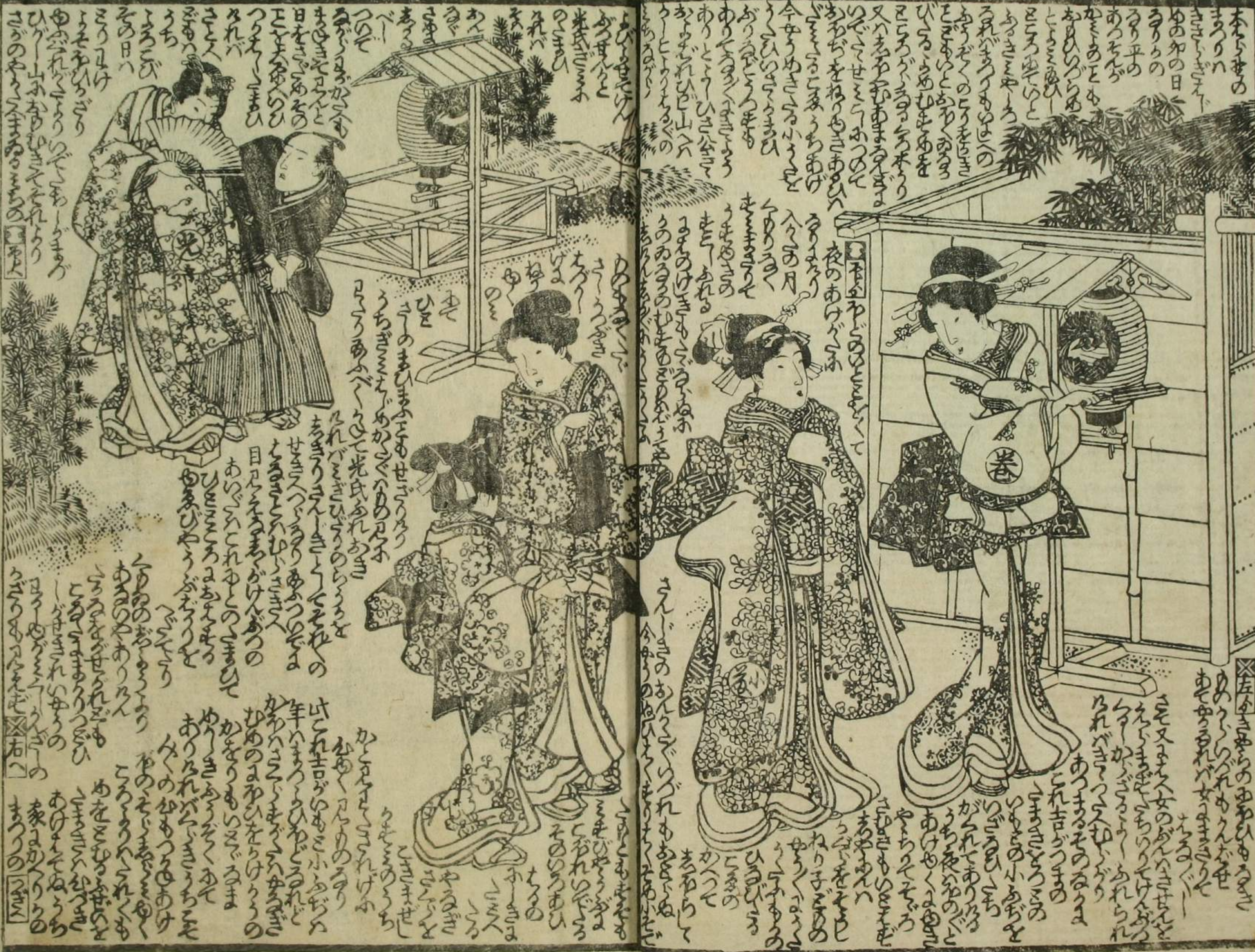
天保十年庚子孟春

柳亭種彦誌



おまのの
 大原野の
 祭まつの
 仁壽元年
 辛未二月一日
 乙卯の日
 ちのあて

最もとなるき神事かみじを
 藤ふじ氏のの右官みぎのくわんへのるるをを行啓ぎやうけいありとぞ



左の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方



右の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方

この御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方



左の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方

右の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方
の御方にてはこれよりいふ所の御方



Handwritten text in vertical columns on the right page, likely a commentary or transcription of the scene depicted in the illustration.



國貞画種彦作



九月のせうのちづつ小正月の
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ
ちづつちづつちづつちづつ

東邦系木木園宗五技藝

俳諧今人附合集 全四冊

新刊板

元天保元年のちづつ九巻とこの内
海内宗五系の木木園宗五の技藝あり
人の附合五百巻をとりあつた時
の海内一瞬のよきあつたむ

本邦系木木園宗五技藝

俳諧今人叢句集 全二冊

新刊板

元天保元年のちづつ九巻とこの内
海内宗五系の木木園宗五の技藝あり
人の附合五百巻をとりあつた時
の海内一瞬のよきあつたむ

俳諧芳艸集 全三冊

田舎源氏文集おれかひの上仕立
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死
あんなもんありやれき新玉のかりり死

俳諧今四歌仙 全二冊

所々遊袋入
小繪ぞりし
昔火林たぐや 全三冊
昔きちちちちち 全三冊
昔浦島翁 全三冊
昔のうは 全三冊

江戸御曆開板所

鶴屋喜右衛門

三十二編下



団 獲 虎 下
貞 高

巴 高



柳亭種彦作



田舎源氏

第三十二編下冊

歌川國貞画

通油町

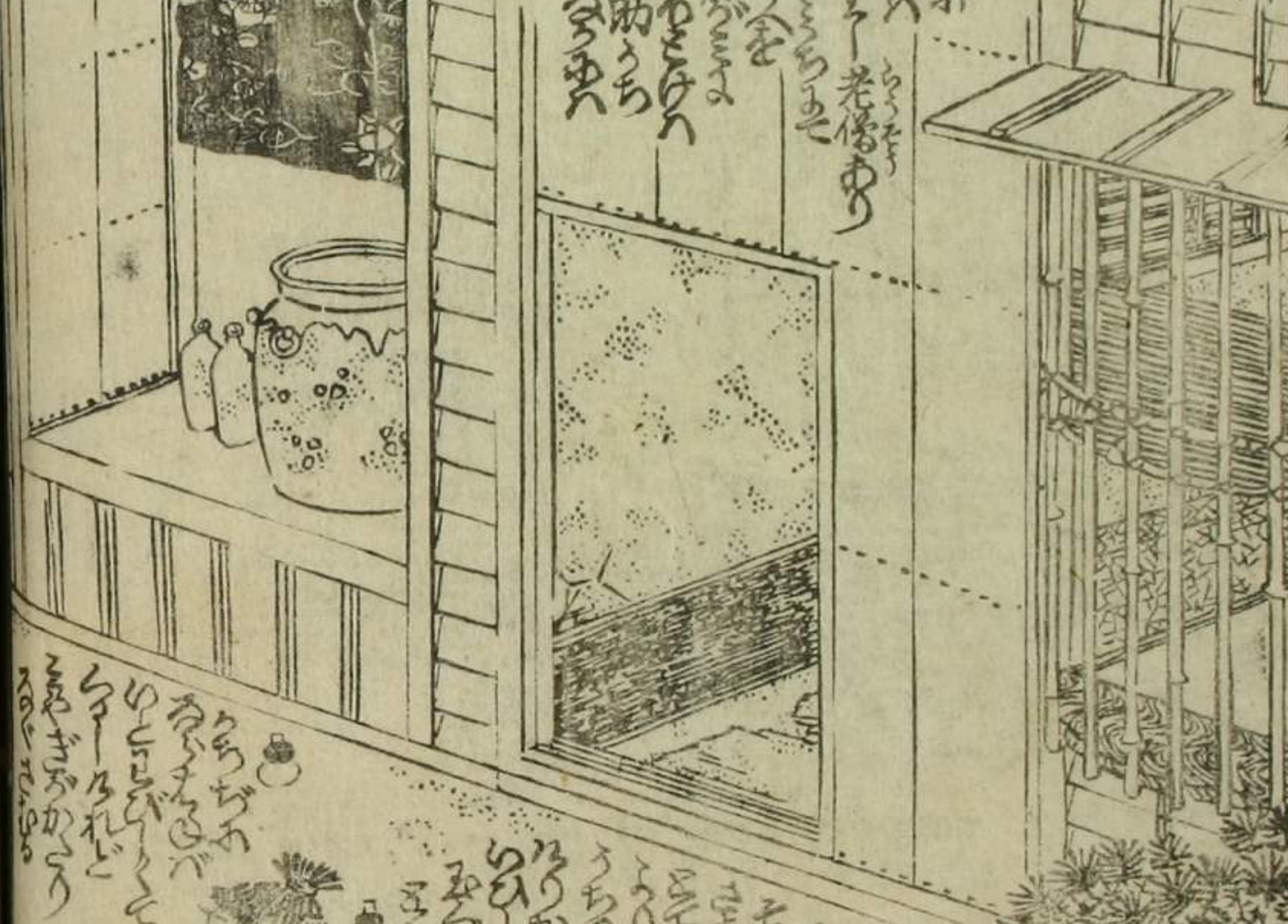
仙鶴堂板

をきめりも
神さひきりん
天津袖
うさご世の友
ふさひきりぬれん



原氏三十二編

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, likely a chapter heading or introductory text.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, describing the scene or characters.

Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a chapter heading or introductory text.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, describing the scene or characters.

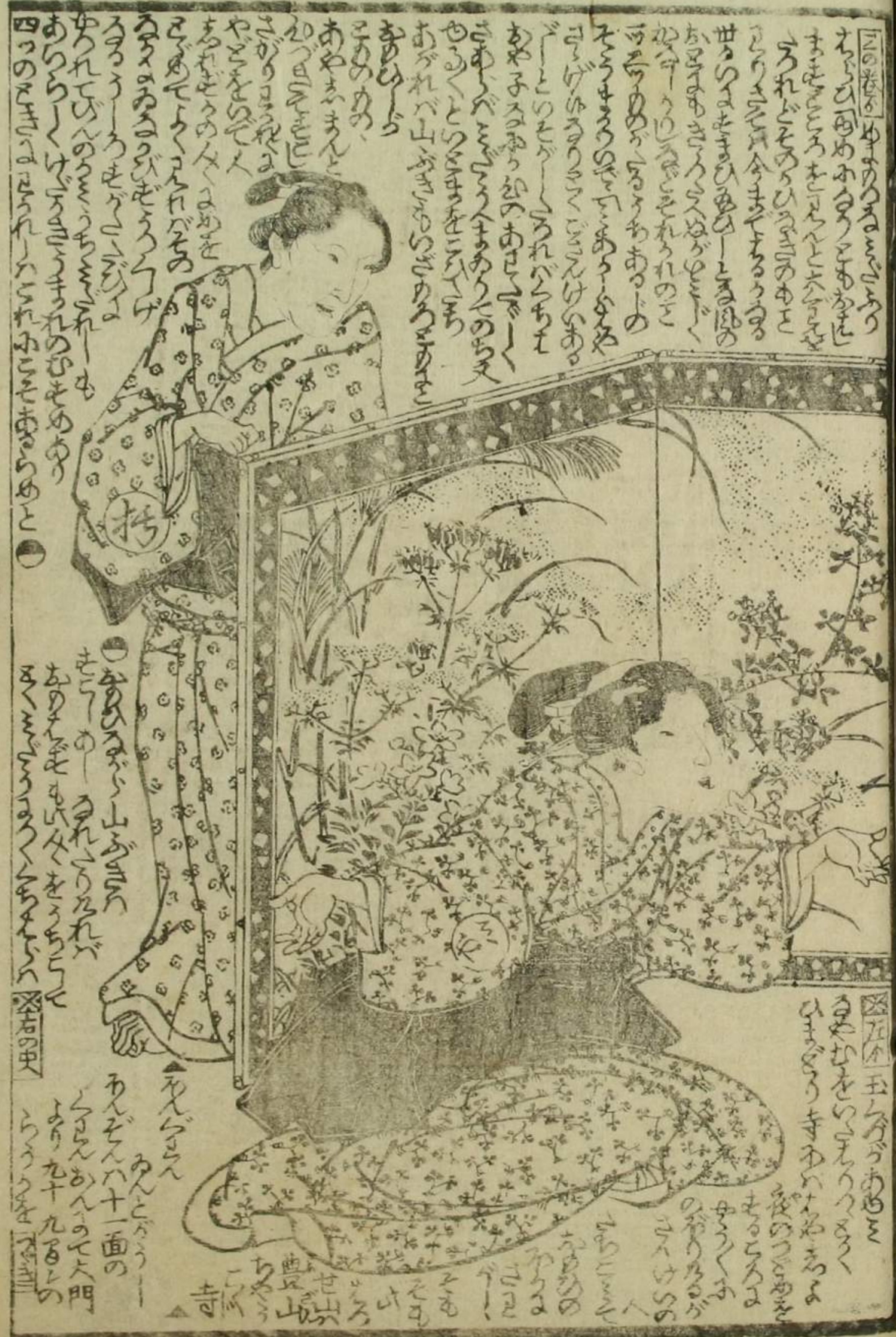
Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the left margin of the left page.

つぎまのちとてんえとまされど
 のつきのまのちのつきのまのち
 うけもえむしむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど



抱玉筆
 さきむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど



つぎまのちとてんえとまされど
 のつきのまのちのつきのまのち
 うけもえむしむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど

抱玉筆
 さきむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど
 りつせむしむせとまされど
 おの女中いさむちのちのち
 ああまたかりいこむせと
 せむせとまされど

源氏物語廿二巻

一五



あつちの
うしろ
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ

あつちの
うしろ
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ

あつちの
うしろ
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ

あつちの
うしろ
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ



あつちの
うしろ
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ

あつちの
うしろ
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ

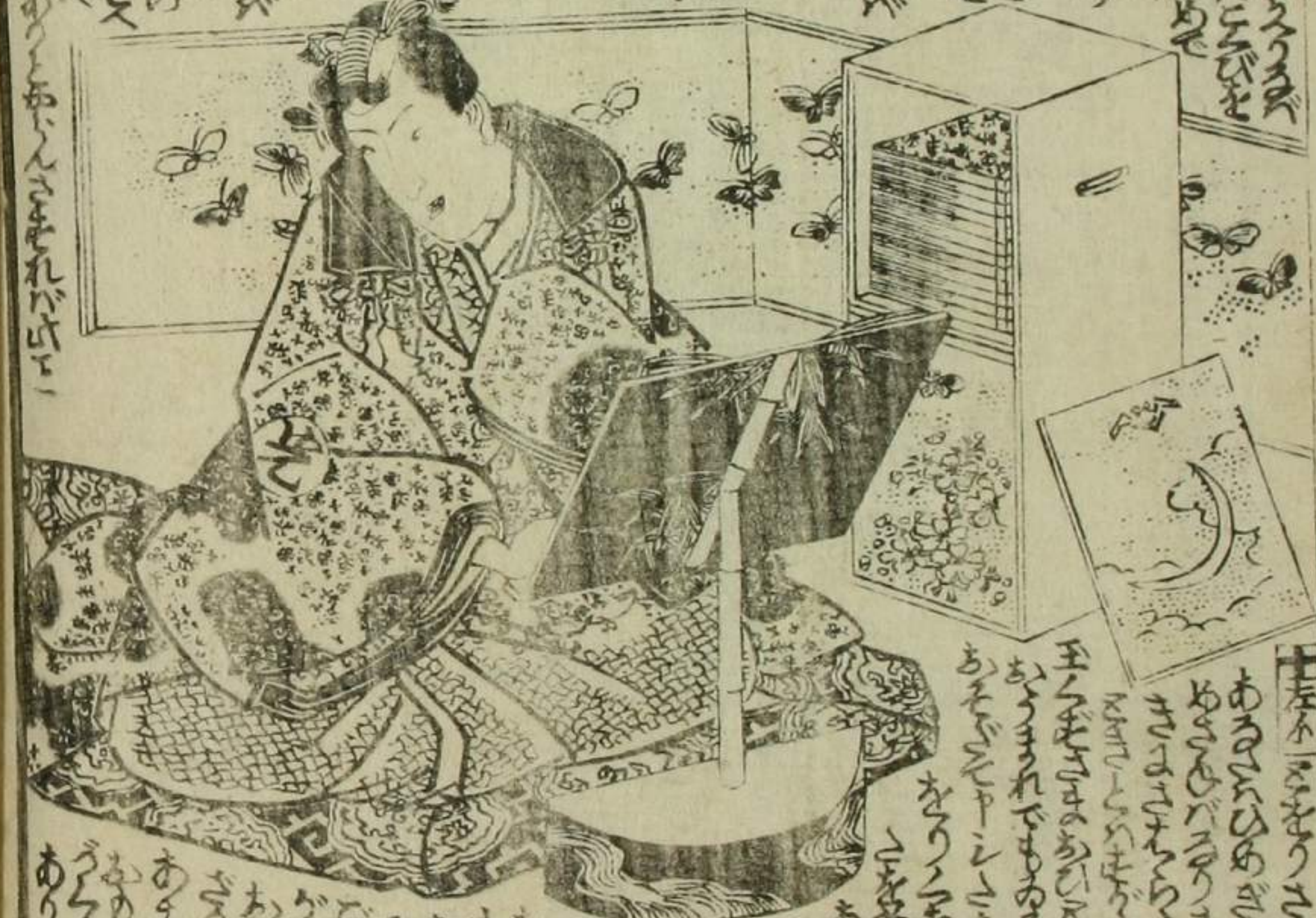
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ
あつちの
うしろ

東京

十二

ついでに... (Vertical text column on the top right of the right page)

... (Vertical text columns on the top left of the right page)



... (Vertical text columns at the bottom of the right page)

... (Vertical text columns on the top left of the left page)



... (Vertical text columns at the bottom of the left page)

源氏二十編
そのあらはるるよしを
さしえんとむねをいひ
むねをいひむねをいひ
むねをいひむねをいひ
むねをいひむねをいひ

柳亭種彦作 歌川國貞画



南三丁目 五丁目
坂本氏製
黒油
美玄香
精製
柳枝
備書

天保一十庚子初春新彫
倭紫田舎源氏

為幸三十二編より三十五編まで開板おぼろしく近日急ぎに奉希ひ

歌川國貞画 柳亭種彦作

百人一首雅講釋

全八冊
歌川國貞画

楠代記

全五冊
歌川國貞画

駕鴦物語

全四冊
歌川國貞画

森羅万象心意氣

後編全冊
歌川國貞画

國字水滸傳

笠亭仙果譯
弟十七編
歌川國貞画

藻塩草須磨書替

全四冊
五雲亭貞秀画

美艶仙女香
黒油美玄香

四十八銅
坂本氏製



書物錦繪
團扇地紙
問屋

江戸通油町
鶴屋喜右衛門

